

第112章：クルアンの3分の1

:

明:イスラ ムにおける神の概念を中心に展 する、第112章の解 。

目:[事クルア ンの意味の要](#)

目:[事イスラ ムの信条神について](#)

より: ビラ ル フィリップス博士

日4 Oct 2013

集日 18 Jun 2023

????????????????????????????????????

????????????????

????????????????????????????????????

????????????????????????



(1) 『言え、「かれはアッラ 、唯一なる御方であられる。』

この は、アッラ 自らによる、かれ独自の唯一性の です。それゆえ、第一 では 言者（神の慈悲と祝福あれ）、そしてこの を む 朗 する者がアッラ 独自の唯一性を するよう求めます。かれは他の何者とも似通わない存在です。世界には多くの唯一性が存在しますが、それらは他にも似通ったものが存在するため、独自のものではありません。例えば、エベレスト山は一つですが、それに似た高山は他にも存在しています。アッラ については、かれに似通う存在がありません。その他すべての唯一性は分割することができますが、アッラ の唯一性は独自のものであり、不可分なものです。

(2) 『アッラ は、自存され、』

アッラ の独自性は、かれの自存性によって しています。あらゆる被造物には必要性があり、それを たすために他者に依存します。アッラ はかれの被造物から、いかなるものをも必要としません。被造物によるものは、アッラ の既に完全な状 を益することも改善することもないので。こうした自存性の特 は、信仰者たちが自らの崇 の目的について熟考することを促します。大半の人々は、あたかもアッラ へ恩 を与えているかのようにかれの崇 をしています。人 造の目的とはアッラ を崇 することであり、それは人々がかれの崇 を必要としているからです。かれは人々からは何も必要としません。人 が神を崇 し、称 しなければならない必要性があるのは、神の法への 性が 世と来世における成功の であるからです。

(3) 『御 みなさらないし、御 れになられたのではない、』

この は、アッラ 独自の唯一性における、もう一つの 面について述べます。 りの宗教は一般的に、神に人 の性 や姿形を与えることによって、神を人格化します。この は主に、人 とその他の生物の一般的な2つの特 に して います。つまり、生による存在の成立と、出 を通しての 生です。『(アッラ 御 みなさらない』のは、何も彼に似通ったものはないからです。子供は の肉体の一部(精子と卵子)から作られるため、 と姿形 性格などが似通います。もし神が出 したのであれば、神に似通った の神が存在することになり、神の独自性が 化されます。また、子 を孕むという事は、一般的に男性の相手となる女性の存在を必要としますから、神はそうした点からも出 の概念を否定します。また、子供を持つということは一般的 点として、神の地位を被造物の地位にまで引き下げることから相 しくなく、それは否定されます。このことは、「神は全能であるため、かれが子を持つことをお望みになれば、そうすることも出来る」という主 に する答えでもあります。それが相 しくないのは、そうすることによって神が被造物のようになるからです。さらに、人が子供を持つのは、世の物 的世界を生き延びるため、または子 を存 させるためでもあります。自らを自存者であるとする神は、そうした必要性からは であることを明言していません。

『御 れになられたのではない』

とは、 接的に、出 によって 生したイエスの神格性を否定するものです。神が 生するということは、それ以前に神は存在していなかったことになり、神の永 性という性 に矛盾します。

(4) 『かれに比べ得る、何のものもない。』』

アッラ は第一章の内容を再度言い えることによって、この章を めめます。神は独自であり、他の何者もかれと同位であることは出来ません。かれと同位のものが何もなければ、かれのみが独自であるということになります。かれのみが自存するのであれば、すべての被造物はかれに依存し、かれと同等のものは存在しないことになります。かれは子 を持たず、何者もかれを 生させたのではなく、すべての被造物は非存在の状 から存在の状 をもたらされたため、何者もかれと同等ではあり得ません。あらゆる被造物には、似通った存在や、 似する同等の存在があります。もしも 造主がそうしたものの一 なのであれば、かれには同位者や似通った存在があることになります。

それゆえ、この章は最も慈悲深い存在である神の系 述が含まれるのです。これは、り かれた人々によってアッラ に 属させられているかれの相似、姿形、起源、子 などの性を否定するために 示されました。例えば、アッラ の 画や 像を作る人々、アッラ 以外の何らかを崇 する人々、アッラ による被造物をアッラ 以外の何かに 属させる人々は、アッラ に相似する存在があることを主 しているのです。しかし、アッラ の性 、主 性、神性には相似がありません。それゆえ、アッラ のみがかれの被造物によって崇 される 利を有しているのです。

??

??

??

??

解

(1) 「言え」とは、私たちが信じ、する「かれはアッラ（神）、唯一なる御方」という明白な主で、唯一性がかれのみ限定され、かれのみが完全性、そして最も美しい御名と究の性を有していることを意味します。かれは唯一比かつの存在です。

(2) 「アッラ フツ=サマド」

アッラは、あらゆる被造物が必要としている自存する主です。天界 下界のあらゆる生物は、かれをこの上なく必要とします。アッラはすべての性において完璧であり、完全なる知を有する全知者であり、最も完全な大さを持つ大なる御方であり、完全なる慈悲を持つ最も慈悲深き御方であるため、それらは自らの必要性をかれにえ、自らの事の解をいます。

(3) 「御みなさらないし、御れになられたのではない」のは、一切の必要性から解放された、かれの完全欠性によるものです。

(4) 「かれに比べ得る、何ものもない」のは、かれの御名と性、そしてかれの行いを含めたすべてのものです。かれはあらゆる不完全なものからく隔たれた御方なのです。

つまりこの章は、神の唯一性を するものなのです。

Footnotes:

[1] *Tafseer al-Qur'aan al-Kareem*, Juz 'Amm, p. 354.

1 *Tafseer al-Qur'aan al-Kareem*, Juz 'Amm, p. 354.

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2812>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。